

	<b>所 属</b>	現代社会学部 現代社会学科
	<b>専 攻</b>	子ども生活学専攻
	<b>主な担当科目</b>	基礎技能(音楽表現)、保育内容(表現)、子どもの音楽遊び、音楽コミュニケーション、幼稚園実習関連科目
	<b>氏 名</b>	古根川 円
	<b>フリガナ</b>	コネガワ マドカ
	<b>職 位</b>	准教授
	<b>学 位 等</b>	教育学修士
<b>研究内容・社会業績等</b>		
<p>(研究内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イメージすることによる音楽表現・演奏技術の変化</li> <li>幼児(赤ちゃん)と音楽</li> <li>音楽によるコミュニケーションと身体表現活動</li> </ol> などを主な研究テーマとしています		
<p>(社会業績)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>文化庁邦楽普及拡大促進事業×至誠館大学地域公開講座「和楽器と出会うー第一はじめてのいっぽコンサート&amp;ワークショップ」(2022)</li> <li>至誠館大学地域公開講座「美しい日本の歌を歌いましょう」(2016~2021 萩市内各公民館にて計11回)</li> <li>至誠館大学出前講義「幼児教育・保育の世界ー子どもと遊べる表現活動ー」(2017県立光高等学校、2018誠英高等学校)</li> <li>イルミネーションフェスティバル2021 in 阿武町オープニングセレモニー指揮・指導(2016、2017、2018、2020、2021)</li> <li>文化庁主催「学校への芸術家派遣事業」において学校訪問コンサート 2006年</li> <li>プラティスラヴァ・カンマーミュージックオーケストラとピアノコンチェルト共演 スロバキアミルバツハ宮殿 2005年</li> <li>防府市韓国春川交流団として韓国・春川市にて交流演奏会出演 2004年</li> <li>(財)防府市文化振興財団こども合唱教室講師 2007年まで</li> <li>スロバキアのスメタナ室内合奏団とピアノコンチェルト共演 2001年</li> </ol> <p>(審査員、委員、所属学会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山口県学生音楽コンクール審査員、TYS山口県学生ピアノコンクール審査員、日本クラシック音楽コンクール審査員</li> <li>萩市男女共同参画推進審議会委員</li> <li>赤ちゃん学音楽アドバイザー(日本赤ちゃん学会認定)</li> <li>日本音楽教育学会、日本音楽知覚認知学会、日本保育学会</li> </ul>		
<b>論文・書籍・資格等</b>		
<p>(著書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現者を育てるための 保育内容「音楽表現」ー音遊びから音楽表現へー (第4章執筆)、教育情報出版、2020年3月</li> </ul> <p>(学術論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>シニア世代の音楽活動に関する一考察ーリトミック要素を取り入れた音楽活動を中心にー 至誠館大学研究紀要第8巻、pp53-60、2021年、単著</li> <li>地域連携による大学生の学びの質に関する考察 至誠館大学研究紀要第7巻、pp77-84、2020年、単著</li> <li>病児保育における看護師の専門職アイデンティティに関わる体験 至誠館大学研究紀要第6巻、pp15-16、2019年、共著</li> <li>保育者志望高校生の幼児期における音楽経験ー保育者養成校の音楽カリキュラムを考えるー 至誠館大学研究紀要第5巻、pp101-111、2018年、単著</li> <li>保育者養成校における音楽表現活動からの学びーアクティブ・ラーニングから協働へー 至誠館大学研究紀要第4巻、pp17-26、2017年、単著</li> <li>幼稚園教諭・保育士、小学校教諭を目指す人のためのピアノ指導ー各進度別学生の主体的学びの構築に向けてー 梅光学院大学子ども学部子ども未来学研究第8号、pp71-80、2013年、共著</li> <li>保育内容(表現)にみる「美しさ」とは何かー学生の授業実践記録からー 梅光学院大学子ども学部子ども未来学研究第7号、pp49-56、2012年、共著</li> <li>ピアノ学習における音楽をイメージする有効性 山口芸術短期大学研究紀要第42号、pp17-25、2010年、単著</li> <li>音楽心理学の動向について:音楽知覚、音楽と感情、音楽療法を中心に 九州大学大学院芸術工学研究院紀要vol.12、pp83-95、2010年、共著</li> <li>音楽で表現しうる感情を示す言葉の収集 日本音楽知覚認知学会大会資料、pp1-6、2009年、共著</li> </ol> <p>(CD制作)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育現場で聴かせたい「ピアノ名曲でこどもと遊ぼう」(模範演奏CD) ドレミ楽譜出版社、2010年初版</li> </ul>		
<b>学生へのメッセージ</b>		
<p>音楽は私たちのとても身近な存在です。嬉しいとき、悲しいとき、思い出の中に耳を澄ますと音楽がありませんか。音楽を自分から発信することで、世代・性別・国境を越えて誰とも楽しく共有することができます。音や音楽を使い、表現力やコミュニケーションの方法を一緒に考えてみましょう。</p>		